

第 35 回九州実験動物研究会総会  
第 37 回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会  
合同開催プログラム

日時：2017 年 11 月 11 日(土)・12 日(日)(若手交流委員会勉強会:11 月 12 日午後)

会場：指宿ベイヒルズ HOTEL&SPA 大会議室(3 階) 〒891-0304 鹿児島県指宿市東方 5000 番地

11 月 11 日(土)

受付 11:00～

開会挨拶

□13:20～13:40	大会長挨拶	和泉博之
	九州実験動物研究会会長	小野悦郎
	日本実験動物技術者協会九州支部長	野口和浩

賛助会員トピックス

□13:40～14:00 座長：鶴田光利(九動株式会社)

2016 年 2 月発売の実験動物用翼付採血針及び動物用保定器のご紹介

池田常雄(日本クリア株式会社)

一般演題 (九実研)

□ 14:00～14:40 座長：瀬戸山健太郎(鹿児島大自然科学教育研究支援センター)

1. ヨーロッパモリネズミコロニーから見出された運動障害個体の基礎及び病態の解析

○枝村仁美<sup>1,2</sup>、福家直幸<sup>2</sup>、加藤悟郎<sup>3</sup>、篠原明男<sup>1</sup>、山口良二<sup>4</sup>、越本知大<sup>1</sup>

1 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、2 宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科、

3 九州大学院大学院医学研究院附属ヒト疾患モデル研究センター動物実験施設、

4 宮崎大学農学部獣医学科

2. 人為的交尾刺激による偽妊娠誘起ラットの評価②

○中村浩敏<sup>1</sup>、角田繁巳<sup>2</sup>、佐々木淳一<sup>2</sup>、倉持隆司<sup>1</sup>、川辺敏晃<sup>1</sup>

1 アーク・リソース 株式会社、2 一般財団法人 動物繁殖研究所

3. ウサギ精子の凍結保存における大豆由来分別レシチンの有用性について

○松尾 完<sup>1</sup>、松久葉一<sup>1</sup>、秋吉俊明<sup>1</sup>、西島和俊<sup>2</sup>、森本正敏<sup>1,3</sup>、北嶋修司<sup>1</sup>

1 佐賀大学総合分析実験センター、2 秋田大学バイオサイエンス教育・研究サポートセンター、

3 福岡女学院看護大学

4. APP×PS2 ダブルトランスジェニックマウス作製の実際とその問題点について

○田中聖一<sup>1</sup>、永島 博<sup>2</sup>

1 福岡大学アニマルセンター、2(株)アニマルケア

休憩 14:40～14:50

一般演題（九実研）

□ 14:50～15:20 座長：川辺敏晃（アーク・リソース株式会社）

5. ビーグルにおける7日間絶食の毒性パラメータへの影響と回復性の検討

○上山智穂理、松元愛海、澤田和俊、川原 毅、和田香代子、榎園親史、和泉博之  
株式会社新日本科学 安全性研究所

6. マウス精巣におけるインクレチン受容体の発現とその作用に関する研究

○林原安里<sup>1</sup>、割田克彦<sup>2</sup>、浅野 淳<sup>1</sup>  
1 鹿児島大・共同獣医・実験動物学、2 鳥取大・農・共同獣医・獣医解剖学

7. 削蹄のいらぬミニブタ用床材の開発

○川口博明<sup>1</sup>、秋岡幸兵<sup>3</sup>、阿部正治<sup>1</sup>、牛飼美晴<sup>1</sup>、松尾 恵<sup>2</sup>、堀内正久<sup>1</sup>、谷本昭英<sup>2</sup>  
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 1 衛生学・健康増進医学分野、2 病理学分野、3 熊本県庁

一般演題（実技協九州支部）

□ 15:20～15:30 座長：川辺敏晃（アーク・リソース 株式会社）

1. マウス導入時検疫における蟻虫検査法の再検討

○藤谷 光、久保憲昭、大沢牧子、山本直土、山中仁木、大沢一貴  
長崎大学先導生命科学研究支援センター 比較動物医学分野（動物実験施設）

□ 15:30～15:40 座長：山本直土（長崎大学）

2. 福岡大学アニマルセンター微生物モニタリング定期検査へのPCR法の応用について

○古賀崇男<sup>1</sup>、田島柳一<sup>2</sup>、川口雅人<sup>2</sup>、松岡晴代<sup>2</sup>、永島 博<sup>2</sup>、田中聖一<sup>1</sup>  
1 福岡大学アニマルセンター、2(株)アニマルケア

日常業務の最前線（実技協九州支部）

□ 15:40～16:00 座長：山本直土（長崎大学）

3. カニクイザルの尾先端部壊死治療としての再改良断尾術

○兒玉暁子<sup>1</sup>、岩坂俊基<sup>2</sup>、権藤航平<sup>1</sup>、有村健司<sup>1</sup>、細山田秋彦<sup>1</sup>、和泉博之<sup>2</sup>  
1 株式会社新日本科学 安全性研究所、2 株式会社新日本科学 前臨床研究推進本部

4. 動物実験におけるヤギの飼養管理の実際について

○牧 宏信<sup>1</sup>、野田剛二<sup>1</sup>、秋吉 知<sup>1</sup>、濱松典子<sup>1</sup>、中島由美子<sup>2</sup>、奥山みなみ<sup>1,3</sup>  
1 大分大学全学研究推進機構研究支援分野動物実験部門、2 大分大学医学部心臓血管外科学  
3 大分大学医学部医学科

休憩 16:00～16:10

九実研及び実技協九州支部 合同特別講演

□ 16:10～16:55 座長:和泉博之(株式会社新日本科学)

なぜ「利右衛門」なのか

坪井詳忠(指宿酒造株式会社)

評議員会 17:00～17:30

九実研総会 17:30～18:00

メディポリス見学ツアー 17:00～18:45

1 班 17:00～17:45(定員 30 名)

2 班 17:20～18:05(定員 30 名)

3 班 18:05～18:45(定員 30 名)

懇親会 19:00～21:00

指宿ベイヒルズ HOTEL&SPA バンケットホール(1 階)

11月12日(日)

朝食 7:00~8:20

指宿ベイヒルズ 展望レストラン(指宿ベイヒルズ HOTEL&SPA にご宿泊者のみ)

受付 8:00~

広東省実験動物学会 特別講演

□ 8:30~9:15 座長:小野悦郎(九州大学医学研究院実験動物学分野)

通訳:劉 艶薇(肇庆创药生物科技有限公司 [SNBL China])

MicroRNA-378 enhance radiation response of a U87 glioblastoma *in vivo* ectopic and orthotopic implantation model

Wende Li (李文徳)

Guangdong Laboratory Animal Monitoring Institute (広東省実験動物監測所)

日常業務の最前線 (実技協九州支部)

□ 9:20~9:30 座長:大沢一貴(長崎大学 先導生命科学研究支援センター)

5. カニクイザルの腰椎から大槽内へのX線透視下カテーテル留置による脳脊髄液採取法の確立

○池田大地、有木裕真、大井紗弓、田之上誠、吉川 哲

株式会社新日本科学 安全性研究所

一般演題 (九実研)

□ 9:30~10:00 座長:大沢一貴(長崎大学 先導生命科学研究支援センター)

8. 宮崎大学において発生したネズミ大腸蟻虫汚染とイベルメクチン長期噴霧による駆除効果

○篠原明男、七條宏樹、増元圭三、猪倉順子、越本知大

宮崎大学フロンティア科学実験総合センター

9. 尿中コルチコステロンを利用したストレス評価『基準値』設定の試み

○仮屋博敬、川辺敏晃、宮崎誠生、井上聖也

アーク・リソース株式会社

10. 2 回目の外部検証を受審して

○佐加良英治

兵庫医科大学 動物実験施設

閉会 10:00~10:10

## 第 10 回実験動物ジョイントセミナー・イン九州

□ 10:15～11:45 座長：越本知大(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)  
野口和浩(熊本大学大学院生命科学研究部)

『動物愛護管理法とそれを取り巻く現状の最新情報について』

1. 動物愛護管理法関連の最新の動きを知り今後どうなるかを考察する  
浦野 徹(大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所)
2. 実験動物飼養保管等基準解説書の改訂における注目点について  
八神健一(筑波大学 医学医療系)

<注:本セミナーは、九州実験動物研究会、日本実験動物協働組合九州支部、日本実験動物技術者協会九州支部との共同企画のため、ご参加はいずれかの会員(賛助会員含む)及び招待者に限らせていただきます。>

閉会 11:45～11:50

(指宿行きバス出発時間: 12:15、13:00)

## 第 7 回若手勉強会

□ 13:30～16:00 座長：瀬戸山健太郎(鹿児島大学)

1. 疾患モデルマウスを用いた関節リウマチの新規治療標的分子の探索(仮)  
佐伯法学(愛媛大学 学術支援センター動物実験部門プロテオサイエンスセンター  
病態生理解析部門)
2. 精神的ストレスによる血小板機能変化  
松久葉一(佐賀大学 総合分析実験センター 生物資源開発部門)

(指宿行きバス出発時間: 16:05)